

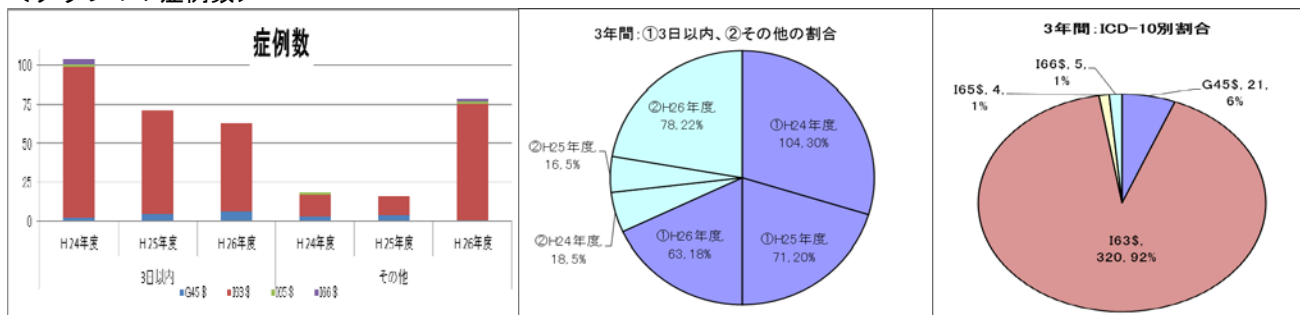
診療情報管理委員会ニュース

(臨床指標報告)

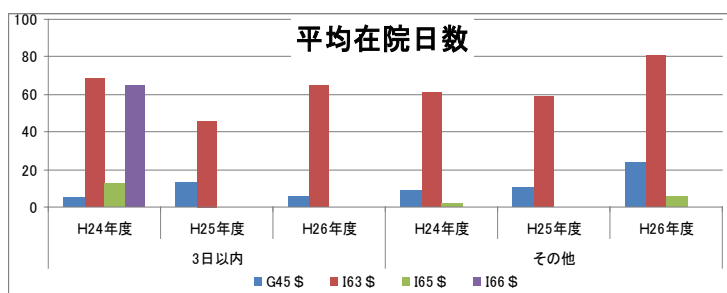
VOL. 19 2015年10月 診療情報管理委員会

【脳梗塞の ICD-10 別患者数】

<グラフ1：症例数>



<グラフ2：平均在院日数>



< ICD-10 コード内容 >

- G45\$: 一過性脳虚血発作および関連症候群
- I63\$: 脳梗塞
- I65\$: 脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの
- I66\$: 脳動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの

girasol より出力 (DPC データ使用)

【定義】

- ICD-10とは、WHO(世界保健機関)により公表された「国際疾病分類・第10回修正版」を指し、疾病・傷害および死因を、国際比較可能なものとするために統一された分類の事を言い、疾病・死因統計や診療記録管理などに活用されます。
- 脳梗塞発症後急性期の場合(=3日以内)と、発症後4日以上経過している場合(=その他)とで分けて表示しております。当院は回復期リハビリテーション病棟を有しており、他院にて急性期治療後リハビリ目的で入院した場合、発症後4日以上のもので計上しております。

【結果】

- 年度別症例数の推移<グラフ1・左>を見ると、H26年度では3日以内の急性期入院が減少し、4日以上経過後の件数が大きく増えています。
- 発症後3日以内の急性期脳梗塞入院が3年間全体の約7割、発症後4日以上のもので入院が全体の約3割という結果になりました。<グラフ1・中>
- 全体の約9割を占めるI63\$：脳梗塞<グラフ1・右>のH26年度データに注目すると、平均在院日数<グラフ2>では、3日以内・4日以上のもので共に、前年比約20日間在院日数が増加していることが分かります。また、平均年齢ではグラフは載せておりませんが、70歳代中盤～80歳という結果となり、同じ指標を公表している他施設とでは比較的高齢となっています。
- 当院にて過去に公表した、「急性脳梗塞患者に対する早期リハビリテーション開始率」では、約9割の患者さんに対して早期にリハビリが開始されている事が示されております。
- このことから、急性期～回復期まで幅広い対応を行っていること、また、リハビリにおいては重点的なケアの実施ができていると言えるものと思います。